



GOOD
DESIGN

すみだモダン

ブランド認証 2010-2025

Sumida Modern Certification



こころ、ゆさぶる。

すみだ
モダン



こころ、ゆさぶる。

すみだ
モダン

こころ、ゆさぶる。 すみだモダン

いまだけではない、100年先のこころよさを。
自分だけではない、より多くの人のよろこびを。
まあたらしい、鮮やかな感動を求めて。
こころ、ゆさぶる。
つくる想いが、心を動かしていく。

2021年秋より「すみだモダン」は新たな理念のもと、
ロゴとステートメントを刷新し再スタートしました。

Index

- P.2 ステートメント
- P.3 すみだモダンについて
- P.4-5 すみだモダン4つの理念 | ブランド認証活動 2021-2025 | 37活動
- P.6-9 ブランド認証商品 2021-2025 | 25点
- P.10-24 ブランド認証 商品部門 2010-2018 | 116点
- P.25-31 ブランド認証 飲食店メニュー部門 2011-2018 | 39点



すみだモダンは、東京墨田区の産業プロモーションです。

2009年、東京スカイツリー®の誘致決定をきっかけに、
ものづくりのまちとしての産業ブランド力を
国内外にPRする目的ではじまりました。

2018年までの10年間は主な活動として、
区内の付加価値の高い商品や飲食店メニューを
ブランド認証しPRを行ってきました。

そして2021年。ものづくりを通して社会課題の解決等に
取り組む事業者の活動そのものを支援することを目的に
「すみだモダン ブランド認証」は再スタートしました。

本カタログでは2021年から新たな審査基準のもとに認証
された活動と商品、そして2010年から2018年までに認証され
た商品と飲食店メニューをご紹介します。



すみだモダン ブランド認証活動2021-2025

「すみだモダン ブランド認証」は、2021年より新しい審査基準のもと再スタートしました。

新しい「すみだモダン」の定義は、「ものづくりを通して、未来のスタンダードを創造し、人々の幸せを育む活動」です。

2021年からは商品そのものではなく、ものづくりのバックグラウンドにある活動も含めて審査する体制になりました。

※商品単独で審査を実施することはありません。

すみだモダン 4つの理念

以下の4つの理念に合致する事業者の活動を「すみだモダン」とします。

<p>未来への 約束を果たす</p>  <p>SUSTAINABLE 持続可能性</p>	<p>知恵を集めて 新しい価値を創る</p>  <p>CO-CREATION 共創性</p>	<p>粋な視点と遊び心を 大切にする</p>  <p>ORIGINALITY 独自性</p>	<p>様々な人の 幸せなつながりを育む</p>  <p>DIVERSITY 多様性</p>
--	--	--	---

2021年認証

- 1 革の端切れを活用した高い技術力とデザイン力による革靴の製造に関する活動
[株式会社ヒロカワ製靴]



- 2 人と地球と宇宙を持続可能にするための活動
[株式会社アストロスケール]
- 3 人・自然・環境に配慮した製法でなめした“やさしい革”に関する活動
[山口産業株式会社]
- 4 カシミアヤギの飼育から製品までの一貫生産に関する活動
[ホリゾン株式会社]

2022年認証

- 5 駆除獣皮の資源化と新たな消費文化の形成を目指し、鹿革ジャンパーを製造する活動
[一般社団法人やさしい革 | 株式会社牧上商会]
- 6 X線検査支援システムを開発・普及し、がん検診の受診率を向上させる活動
[株式会社アイエスゲート]
- 7 革の魅力を伝えながら、長く愛される鞆を作り続ける活動
[株式会社大岡鞆工房]
- 8 釜焚き製法の伝統を受け継ぎ、信頼される石鹸・洗浄製品を作り続ける活動
[松山油脂株式会社]
- 9 5つの「RE」の想いを込めて、石鹸等をアップサイクルする活動
[松山油脂株式会社]



- 10 珈琲で豊かな人生を導く「Coffee Conductor "Sumida"」としての活動
[UnCafeSucre株式会社]
- 11 粋と職人が息づく墨田で生まれたファクトリーブランド「IKIJI」の活動
[精巧株式会社 | 株式会社二宮五郎商店 | ウィンズロップ株式会社]
- 12 人にも地球にもやさしい「和紙」100%素材のアパレル製品を製造する活動
[株式会社和興]



- 13 溶融窯を維持し続け、職人の手作りによるガラス製品を製造する活動
[岩澤硝子株式会社]
- 14 自動車の窓ガラスや自社の規格外ガラス製品をアップサイクルする活動
[岩澤硝子株式会社]
- 15 山野の恵を有効資源化し、自然環境に配慮した革の手入れ用品を製造する活動
[株式会社サクラワクス]
- 16 コーヒーを最後まで無駄にせず、有機質肥料へと生まれ変わらせる活動
[株式会社すみだ珈琲]
- 17 独自の伝統技法による薫職作業着等を製造する活動
[東京墨田の足袋 有限会社磯貝商店]

2023年認証

- 18 独自の発酵技術で未利用資源を活用し、サーキュラーエコノミーを構築する活動
[株式会社ファーマンステーション]
- 19 自然環境保護と地域共生社会の実現を目指し、エゾ鹿革の製品を製造する活動
[株式会社二宮五郎商店]
- 20 まちのデザイン力を向上させる「すみだクリエイターズクラブTシャツ展」の活動
[すみだクリエイターズクラブ]
- 21 自然由来の原料からレザーケア用品を製造し、モノを大切にすることを育む活動
[株式会社谷口化学工業所]
- 22 燈籠の伝統製法とデザインを生かし、日本の伝統文化を身近に感じる製品を製造する活動
[株式会社甲入]
- 23 東京手描き友禅の技法と現代技術を活用し、サステナブルな製法でTシャツを製造する活動
[キップス株式会社]
- 24 日本の伝統技法「網代編み」を革製品に表現し、古来の文化やデザインを現代に伝える活動
[株式会社二宮五郎商店]



- 25 独自の研究による製品作りと美術館での展示を通じて、「和ガラス」の魅力伝える活動
[廣田硝子株式会社]
- 26 クリエイティブな発想とサステナブルな製法で、独自のアパレル製品を製造する活動
[株式会社エー・ディー・ビー]

2024年認証

- 27 真鍮鋳物を扱うブランド「R Brass」の展開で砂型鋳造という技術を次世代に継承する活動
[有限会社芝崎合金鋳造所]
- 28 墨田区の町工場から提供された多種多様な素材を使ってこどもの主体的な遊び場「あそび大学」を展開する活動
[特定非営利活動法人あそび研究会]



- 29 実験用ガラス製品メーカーによる耐熱硝子素材の特性を活かした日用品を開発する活動
[有限会社竹内製作所]
- 30 既存製品を自社の技術を通して見立て直し新たな価値を創造する活動
[株式会社石井精工]
- 31 廃棄物から新たなゴム素材を開発しゴムの未来性と独自技術をSample Bookで伝える活動
[東南ゴム工業株式会社]

2025年認証

- 32 国産天然植物由来成分による新素材「curefillo® (キュアフィーロ)」を使用した機能性ウェアを区内3社で共創する活動
[株式会社ズーム]
- 33 カカオ豆の選定から行う独自のチョコレート製造販売とワークショップや地域との連携により世代をつなぐ活動
[SUNNY CHOCOLATE]
- 34 職人の技を体感できる工房兼店舗「すみだ江戸切子館」の運営やガラス開発で伝統技法を現代に継承する活動
[有限会社ヒトダガラスクラブ]
- 35 伝統の屏風技法を活かした、マグネット型の折りたためる節句飾り「扇-SENN-」を開発する活動
[株式会社片岡屏風店]
- 36 高度な独自技術により土に還る和紙糸を78%配合した足にフィットする「和紙足袋靴下」をつくる活動
[有限会社フルカワ]
- 37 醸造所でのオリジナルビール開発やサウナ・宿泊施設の運営など時代に合わせて銭湯文化を継承する活動
[黄金湯/BATHE YOTSUME BREWERY]



1 カシミアストール
カシミアマフラー

生産者をパートナーと考え、クリーンで公正なカシミア生産の道を切り拓くホリゾン。内モンゴルの自社牧場でカシミアヤギを飼育し、高品質な原料を現地の自社工場で一貫製造する。製品はすべてがふわふわの手触りで、頬ざりしたくなるほど。
[ホリゾン株式会社]



2 レザー・サカス
鹿革ジャンパー

駆除獣皮の有効資源化の一環として開発されたスタジアムジャンパー。1着当たり3枚の鹿革が使われている。墨田区のなめし産業と革製品製造の技術融合から生まれた。
[一般社団法人やさしい革]
[株式会社社牧上商会]



3 世界で一つだけの
ショルダーバッグほか

「世界でひとつのこだわりバッグを作ろう」というワークショップを2012年から続けている大関鞆工房。お客さまが多彩なパーツから好みの色や感触の革を選び、職人と同じ作業でバッグをつくる。動物の皮を無駄なく使うことの大切さも学ぶことができる。
[株式会社大関鞆工房]



4 REES:PRODUCTS

製造過程で生じる濃厚石けん液や、規格外の製品などをアップサイクル。ブランド名にはREDUCE・REUSE・RECYCLE・REBORN・REPLYという5つの「RE」が込められている。
*REDUCE (捨てるものを減らす)・REUSE (何度も繰り返し使う)・RECYCLE (資源に戻して使う)・REBORN (生まれ変わる)・REPLY (お客様の意見や反応)
[松山油脂株式会社]



5 IKIJI [TPS スウェット]
ほか

TPS ミシンと呼ばれる特殊な機械で縫製。生地を重ねずに縫うことで縫い代を無くし、着用時のストレスを軽減。環境に優しい再生繊維を使った裏起毛生地は肌触りが柔らかくあたたかい。エルボーパッチがデザインにクラシックな要素をプラスしている。
[精巧株式会社]



6 自社開発 WASHI-TECH
シリーズ [Tシャツ、ストール]

6年という歳月をかけ和紙100%にこだわる素材開発を行ってきた和興。そしてついに調湿作用・抗菌消臭・UVカットという天然由来の機能を持つ「WASHI-TECH」が生まれる。創業90年以上に渡り培われてきた技術が、繊細な和紙の服づくりに息づいている。
[株式会社和興]



7 LEATHER
SHAMPOO

ブラシにスプレーして泡で汚れを落とし拭き取るだけ。エゾシカオイルが革の内部に浸透するので1本で皮革効果も。革だけでなくスニーカーなど布地にも使え、面倒な靴のお手入れが楽しくなるレザーシャンプー。ゆずとフローラル、2種の香りも心地よい。
[株式会社サクラワクス]



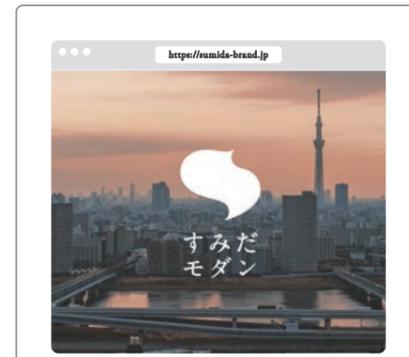
8 コーヒーから生まれた地球
環境にやさしい有機質肥料

毎日廃棄する使用済みコーヒーの粉を何とかできないか。すみだ珈琲は国内事業者とともに有機質肥料の開発に成功した。コーヒーの消臭効果によって従来の鶏糞肥料の臭気を約90%低減。土になじみ土壌改良の効果もある地球にやさしい肥料だという。
[株式会社すみだ珈琲]



9 とび
鳶職作業着

いつかは種田を着て仕事がしたい。「種田の足袋」は鳶職人の憧れの作業着ブランド。体格や想定される荷重等を踏まえた1点ごとの手作業、丈夫で軽い最上質の生地。過酷な現場での作業に、誇りと安心感を与えてくれる一着だ。
[東京種田の足袋 有限会社磯貝商店]



公式サイト

すみだモダンに関わる方々へのインタビュー記事を中心に、各事業の紹介や最新情報などを発信しています。
[株式会社二宮五郎商店]



10 十勝エゾ鹿革シリーズ

害獣指定されているエゾ鹿の革を有効利用。大判革だからできるソムリエエブロン、耐久性と柔らかさを活かしたバッグなど、エゾ鹿革の良さを伝える商品を幅広く展開。エゾ鹿の生息地域である十勝地方と連携し、利益は地域にも還元されている。
[株式会社二宮五郎商店]



11 自然から作ったシリーズ

サステナブルと環境保全をテーマにしたレザーケア製品。害獣指定されているエゾ鹿の油脂を使い、日本古来の精油であるヒノキ・丁子(グローブ)、そして柑橘系の香りもプラス。こころよい自然の香りに包まれて、上質なレザーケアの時間を。
[株式会社谷口化学工業所]



12 よろいでもと
鎧手許
[バッグ、名刺収め]

日本で唯一の女性甲冑師が、節句の鎧兜の製作技術を未来に伝える鎧手許シリーズ。120年余り伝承されてきた甲冑の製造方法と素材を活かしながら、誰もが身近に愛用できるアイテムを展開。編み部分の色はカスタマイズも可能だという。
[株式会社甲人]



13 some-pri Tシャツ
[デジタル友禅Tシャツ]

敷居が高くなりながら手描き友禅を、デジタルの先端技術で繊細な柄や色まで再現。Tシャツに落とし込むことで、多くの人が友禅の芸術性を体感できる。生地を無駄にしない直線裁断は、着用時に揺れ感ある美しいシルエットを生みだしている。
[キップス株式会社&そめよう合同会社]



14 アジロ編み
グレインシリーズ

茶室の天井などに見られる竹編みの文様を、上質な革に型押し加工で再現した。細い革を編み込むよりも表面がなめらかで汚れにくい。精緻な模様を真鍮の金型に押し、熟練した職人が独自の加工を加えて、芸術の域に達する製法を編みだした。
[株式会社二宮五郎商店]



15 懐かしのガラス瓶シリーズ
[招き猫・地球瓶]

昔、駄菓子屋さんではほ笑んでいた可愛い招き猫、お煎餅などを保存した大きな地球瓶。廣田硝子は製造が困難ゆえ、消えゆくとしているガラス瓶の復元にチャレンジしている。瓶に詰まっているのは、和ガラスの良さを伝えたいという想い。
[廣田硝子株式会社]



16 北斎アロハ・サステナブル
シャツ・感覚刺激Tシャツ

区内の福祉施設との連携、北斎画の採用など、社会貢献や地域性を取り入れたユニークなアイテムを次々と展開するイー・ディー・ピー。古着などの再利用、オンデマンド生産等の持続可能な製法でアパレルの可能性を自在に広げている。
[株式会社イー・ディー・ピー]



すみだギャラリー

製鉄所 (1910年代)

自動車メーカーの下請けとして、製鉄所も数多くあった。



17 ペンギンがんぐ
人鳥願具

廃棄された水道の蛇口等も原料に活用しているペンギンのオブジェ。すみだ水族館のアドバイスを受けて、ペンギンたちの愛らしい姿を再現した。同館で販売され、国内外から注目されている。繊細な曲線美が真鍮鍍物の可能性を物語る。
[有限会社芝崎合金鍍造所]



18 クラルト
clarto ガラスペン
アカリ
acari

ガラス管など理化学実験器具を製造する製作所が展開する、自社ブランド「clarto」。この美しいガラスペン「acari」は手作業による耐熱硝子加工から生まれた。耐久性も併せ持つ繊細な美しさが、耐熱硝子の未来を表現している。
[有限会社竹内製作所]



19 MITATE 金属の割り箸

古いものや使い捨てられていた物事を、自社の技術を通して新しい価値へと見立て直すブランド「MITATE」。その第一弾は割り箸。金属加工技術を駆使し、割り箸を割るパキッと感を再現した。繰り返し使える金属の割り箸。
[株式会社石井精工]



20 キュアフィロ
curefilo® Tシャツ

区内3社の協働により生まれた、機能性新素材「curefilo®」を使用したTシャツ。素材は国産天然植物由来で、抗酸化作用やリラクゼーション効果が期待される。裁断や縫製、デザインにもこだわり、長く快適な着心地を実現。
[株式会社ズーム]



21 クラフトチョコレート

カカオ豆からチョコレートになるまでの全工程を一貫して手がけるSUNNY CHOCOLATE。原材料はカカオ豆と奄美大島産の素糖のみ。上質な原材料とシンプルな製法にこだわることで、産地ごとに異なる、カカオ豆本来の味わいを引き出している。
[SUNNY CHOCOLATE]



22 江戸切子
温熱用クリアオールドグラス

職人の作業風景が見える工房兼店舗「すみだ江戸切子館」で開発された温熱対応のグラス。加工が困難な70℃の温度差に耐えられる硬質ガラスに、職人が一つひとつ加工を施している。江戸切子の技法を透明なガラスで表現し、繊細な模様を際立たせた。
[有限会社ヒロタガラスクラフト]



23 折りたためる節句飾り
「扇-SENN-」

現代の生活様式に合わせてデザインされた、小さな屏風に人形を直接飾ることのできる節句飾り。木材でできた人形はマグネットで取り外し可能。片岡屏風店が伝統の技法により和紙貼りの屏風は、写真を貼る、インテリアとして飾るなどの楽しみ方ができる。
[株式会社片岡屏風店]



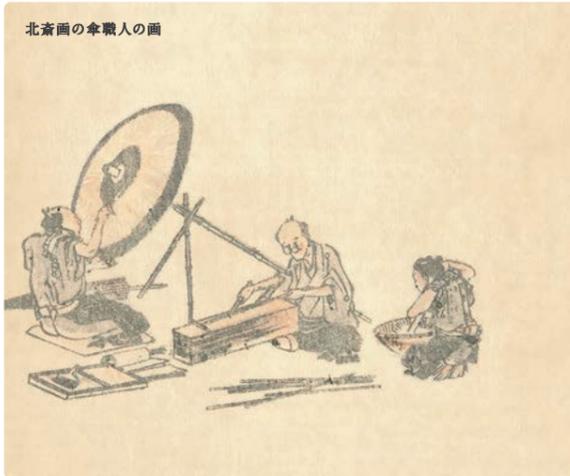
24 WASI WASI
和紙足袋靴下

土に還る素材、和紙糸を78%高配合した靴下。配合率が高いほど編み上げるのが難しい和紙糸を、フルカワが独自の高度な技術で編みだすことに成功。天然由来成分である和紙糸は、低環境負荷であることに加え、抗菌・防臭・調湿効果にも優れている。
[有限会社フルカワ]



25 BATHE YOTSUME BREWERY
クラフトビール

本格的なサウナや宿泊所を併設するなど、革新的な取り組みで話題の黄金湯。「湯上りの最高のひとときを醸造する」をコンセプトに、2023年にビール醸造所を開業。オリジナルのクラフトビールで、下町の銭湯文化に新たな風を呼び込んでいる。
[BATHE YOTSUME BREWERY]



すみだものづくり百科

【家内工業】瓦師、金彫師、刷毛師、足袋師、人形師。江戸時代からすみだは多種多様な職人が暮らす家内工業のまちだった。

【近代工業】武家屋敷跡の敷地、失業した武士の労働力、水運・陸運の利便性といった背景から、明治維新後すみだは近代工業の集積地に。最盛期、墨田区には1万軒近くの工場があったという。

【洋風化】生活の洋風化から、明治時代に洋服、マッチ、石けん、時計、ビールなどの生活品産業が興る。さまざまな有名メーカーがこの地から生まれている。

【葛飾北斎】ものづくりのまちを愛した北斎は、生涯のほとんどをすみだで暮らした。2015年には「すみだ北斎美術館」が開館。



すみだものづくり百科

【硝子】明治、大正、昭和と運河沿いに硝子工場が立ち並んだ。今も手作りの硝子工場が点在。硝子づくりを体験できる工房も。

【金属】医療など幅広い分野で注目される金属加工技術の高さ。技術を活かし、消費者向け商品を開発する企業もふえている。

【ゴム/プラスチック】工業用を中心に質の高いゴムやプラスチック製品を製造。消しゴムや風船でも歴史ある会社が新しいヒット商品を生みだしている。

【アパレル】東京ニット製造企業の3分の2がすみだに集中。染色や縫製の工場も多く、日本のファッションを支えている。

【石けん】衛生・清潔をめざす近代化の波から明治以降、多くの石けん工場が生まれた。今も多種多様な石けん会社がある。